

平成 29・30 年度 土木学会複合構造委員会 第 7 回幹事会議事録

日 時：平成 30 年 5 月 16 日（水）14:00～17:00

場 所：土木学会 会議室

出席者：西崎委員長，下村副委員長，溝江幹事長，大久保幹事，葛西幹事，川端幹事，北根幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，平幹事，滝本幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，杉岡事務局

配布資料：

- 幹 7-0 平成 29・30 年度複合構造委員会第 7 回幹事会議事次第
- 幹 7-1 平成 29・30 年度複合構造委員会第 6 回幹事会議事録（案）
- 幹 7-2 平成 29・30 年度複合構造委員会幹事会名簿&業務分担
- 幹 7-3 平成 30 年度複合構造委員会スケジュール
- 幹 7-4-1 平成 29 年度委員会決算
- 幹 7-4-2 平成 30 年度委員会予算案
- 幹 7-5-1 平成 30 年度重点研究課題（研究助成金）の審査結果の報告
- 幹 7-5-2 平成 30 年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果
- 幹 7-6-1 平成 29 年度実績の委員会活動度個別調査書の確認依頼
- 幹 7-6-2 平成 29 年度実績の委員会活動度個別調査書（複合構造）
- ~~幹 7-7-1 JSCE2015 のアクションプランに対する 2017 年度自己評価と 2018 年度計画作成の依頼~~
- ~~幹 7-7-2 JSCE2015 「10 の重点課題」に対する 2017 年度の自己評価（複合構造）~~
- 幹 7-8 I 分野 構造系 3 委員会の意見交換会の報告
- 幹 7-9 第 2 回温故知新セミナー 準備状況報告
- 幹 7-10 書籍英訳化 状況報告
- 幹 7-11 平成 30 年度全国大会・年次学術講演会
- 幹 7-12 平成 30 年度全国大会・研究討論会
- 幹 7-13 第 7 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 幹 7-14 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造
- 幹 7-15 出版関連報告
- 幹 7-16 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹 7-17 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹 7-18 H106 FRP による補修・補強指針作成小委員会
- 幹 7-19 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 幹 7-20 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
- 幹 7-21 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹 7-22 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹 7-23 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会
- 幹 7-24 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹 7-25 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会
- 幹 7-26 平成 29・30 年度複合構造委員会第 3 回委員会議事次第（案）
- 幹 7-27 平成 29 年度重点研究課題（研究助成金）の検討継続
- 幹 7-28 第 2 回日中シンポ 準備状況報告

議事内容：

1. 委員長挨拶

西崎委員長より，幹事会開催にあたって挨拶がなされた。

2 年目に入り，英訳，継続教育など新しいことが実現しつつある．引き続きお願いします。

2. 複合構造委員会第 6 回幹事会議事録案確認（資料 幹 7-1）

橋本幹事より，資料に沿って説明がなされ，議事録として承認された。

また，議事録 16. その他(1) 研究企画委員会からの部門幹事選出依頼に関し，溝江幹事長から，部門幹事は鋼構造委員会に決まったとの報告があった。

西崎委員長より，今後のために経緯を記録しておいた方がいいとの話があった。

3. 平成 30 年度複合構造委員会幹事会体制確認（資料 幹 7-2）

溝江幹事長より，資料に沿って報告がなされた。

4. 平成 30 年度複合構造委員会スケジュール確認（資料 幹 7-3）

溝江幹事長より，資料に沿って今年度のスケジュール説明があった。

- ・今年度は委員長選挙があるので，12 月と 1 月の幹事会，委員会を入れ替えた。
- ・選挙関係の活動は，11 月から始め，12 月に立候補を受け付けるというスケジュールとなる。

5. 平成 29 年度委員会決算と平成 30 年度委員会予算案（資料 幹 7-4-1，7-4-2）

溝江幹事長より，資料に沿って説明がなされた。

- ・決算については，最終的に約 1 万円を残金とした。
- ・今年度予算については，6/12 の親委員会以降となるため，110 万円の場合と 130 万円の場合を親委員会に提案することとなった。
- ・予算案の中身は，論文集の外注費を 40 万円とし，その他，示方書小委員会の活動度が増すことを見越して前回よりも増額した。130 万円の場合は，シンポジウム，国際連携，複合示方書，その他各小委員会を増額する案とした。

6. 平成 30 年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果（資料 幹 7-5-1～7-5-5）

溝江幹事長より，資料に沿って説明がなされた。

- ・申請のあった重点研究課題のうち 2 位と 3 位が僅差であったため，予算を折半して実施する方向との選考結果の連絡があり，複合構造委員会としては実施すると回答した。
- ・「グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会」の準備会を実施した（議事録：幹 7-5-4）。
- ・準備会の結果，検討項目を以下の 3 点とすることとした。
 - ①グリーンインフラとグレーインフラの協働事例の検証
 - ②グリーンインフラとグレーインフラの新たな協働に関する検討
 - ③グレーインフラへのグリーン(インフラ)の取入れに関する検討
- ・今後，小委員会と 3 テーマの WG を立ち上げて活動する。
- ・親委員会で，本小委員会に委員としての参加希望を募る。
- ・グリーンインフラ研究者として 2 名を候補として挙げている．内諾を得て，親委員会に諮る予定である。
- ・成果の報告について，平成 31 年度の研究討論会は複合構造委員会としては開けないので，複合シ

- ンポジウムでの公表を検討する.
- ・ 委員会は3回開催する予定であり、スケジュールは決定済みである。(幹 7-5-5)
 - ・ 来年度以降、2種委員会で継続する方向で検討する.
7. 平成 29 年度重点研究課題(研究助成金)の検討継続(資料 幹 7-27-1, 2)
- 西崎委員長より、平成 29 年度重点研究課題の報告書について説明がなされた.
- ・ 示方書の共通化を目的として検討が行われたが、引き続き検討を行いたいと構造工学委員会から依頼があり、快諾した.
 - ・ 複合構造委員会の立場で参加している人が少ないため、2 名程度人数を増やしたいと考えている.
 - ・ 複合構造委員会としては、FRP を知っている人がいるという点が特徴なので、FRP の専門家が参加してはどうか、との意見があった.
- ⇒今後の複合示方書の改訂にも役立つと考える. 幹事団だけでなく、委員にも広げて 1~2 週間の間で決めることとなった.
8. 平成 29 年度委員会活動度評価結果(資料 幹 7-6-1, 7-6-2)
- 溝江幹事長より、資料に沿って、報告がなされた.
9. JSCE2015 の 2017 年度自己評価と 2018 年度計画(資料 幹 7-7 欠番)
- 溝江幹事長より、例年この依頼が学会から来ているので議事として挙げたが、まだ来ていないので今回は報告なし.
10. I 分野 構造系 3 委員会の意見交換会の報告(資料 幹 7-8-1~2)
- 西崎委員長より、資料に沿って会合の内容について説明・報告がなされた.
- ・ 若手技術者による検討会設立を足掛かりに、3 委員会連携の小委員会設立を目指そうという動きがある. ただし、今のところ具体的な動きはない.
 - ・ これまでにも 10 年に 1 度くらいの間隔で同様の話が出るが、具体的な動きはなかった.
11. 第 2 回温故知新セミナー 準備状況報告(資料 幹 7-9)
- 斉藤(隆)幹事より、資料に沿って説明がなされた.
- ・ 前回幹事会の報告から、時間配分を変更した.
 - ・ 懇親会の場所として弘済会館を予約済みであり、前回幹事会で決定したように会費は無料とする.
 - ・ 後援依頼は、タイトルを決定してから行う.
 - ・ 溝江幹事長から、講演いただくお二人の先生に、話す内容、タイトルの締め切りの連絡をする.
 - ・ 参加者をお願いする事前アンケートは、申し込みの備考欄に記述いただくことを考えている.
 - ・ 講演タイトルだけではアンケートの質問を考えるのが難しいので、講演資料の事前公開を検討したが、過去に別の委員会で説明用 ppt を事前公開したところ、当日キャンセルが増えたことがあった. よって、本セミナーでは資料の事前公開は行わない.
 - ・ タイトルに「若手技術者のための」とあるが、申し込みに年齢制限は設けない.
12. 書籍英訳化 状況報告(資料 幹 7-10-1~2)
- 溝江幹事長より、活動状況について報告がなされた.
- ・ インターネット上での公開について出版事業課に確認したところ、改めて転載許可が必要とのことであった. 出版を通さないのので、委員会で転載許可の手続きを実施することとなる.
 - ・ 土木学会の書籍販売サイトにリンクを貼ることは可能である.
 - ・ 有料・無料の区別が可能か確認したところ、出版を通さないのので、有料とした場合にお金を徴収

する部署がないので無理であるとのことであった。

- ・転載許可について、日本語版の場合は出版委員会で実施してもらっているため、出版委員会から関係書類を取り寄せ、転載許可を取ることとする。転載許可の手続きを H103 小委員会で対応をしていただけないか大山委員長に相談する。まずは杉岡事務局から出版委員会に、日本語版の時の転載許可資料を取り寄せてもらおうと同時に、他に英訳化した事例があれば関連資料を取り寄せることとなった。

13. 第 2 回日中シンポ 準備状況報告（資料 幹 7-28-1）

松本幹事より、準備状況について報告がなされた。

- ・現在、参加者を募集している。10/24-28 上海にて開催される。
- ・国際連携小委員会の中では、橋梁関係 20 人、トンネル関係 20 人程度の参加を考えており、橋梁：奥井先生、トンネル：芥川先生、地震工学：藤倉先生がそれぞれ調整している。
- ・IABSE と複合構造委員会共催の「複合構造コロキウム」として実施してはとの提案が中村俊一先生からあった。費用はどこから出のかなど、課題を整理して次回の親委員会で奥井先生から話をさせていただく予定であるが、その前に溝江幹事長から奥井先生に話をさせていただくこととなった。
- ・IABSE ならカウンターパートは構造工学委員会なのでは、という話もあった。

14. 平成 30 年度全国大会・年次学術講演会（資料 幹 7-11）

広瀬幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・複合構造物における発表は、第 1 希望 42 編と、第 I 部門から 2 編の合計 44 編である。
- ・座長はすでに内諾いただいている。
- ・編成委員会からの要請で、共通セッションは同じ時間帯（初日午前中）に実施と設定されたため、同時刻に 2 か所の平行実施が懸念されたが、それは避けられた。ただし、開催部屋が異なるので注意のこと。

15. 平成 30 年度全国大会・研究討論会（資料 幹 7-12）

松本幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・話題提供者、パネリストとして、SIP 関係 1 名、情報系の先生を含めた 6 名に依頼する予定で、現在調整中である。
- ・話題提供者（複合構造委員を除く）の旅費は、委員会の予備費で対応できるので必要であれば、松本幹事より溝江幹事長に連絡する。

16. 第 7 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム（資料 幹 7-13）

大久保幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・11/8-9 に土木学会に実施する予定で、現在原稿を募集中である。
- ・2 日目の午前中に特別企画として、建築と土木で合同のパネルディスカッションを検討している。パネラーは、宮地エンジ、小松精練、金沢工大 ICC 研究センター斉藤先生、松本先生、橋本先生を予定している。

17. 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造（資料 幹 7-14）

橋本幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・特集号は、5 月末公開予定である。
- ・土木学会論文集拡大調整会議が開かれ、以下の議論があった。
 - 委員会によって特集号の論文の質が違わないかという懸念がある中で、各委員会にア

ンケートがあり、その結果の説明があった。分野によって、登載率に大きなばらつきがあるとのことであった。

- 英語論文の投稿数を増やすために WG を立ち上げるとのことである。
- 特集号の場合の、「討議」の窓口と、その内容をどの号に掲載するのが明確になっていない。
- 上記を鑑み、将来的には通常号と特集号を一体運営としたいとのことであった。これは「特集号」としては残すが、同じ編集委員で運営していくということである。
- J-stage のファイル形式変更により、通常号では 7 月から掲載料を 2000 円アップする。
- ・ 拡大調整会議は、今後も年に 1 回開かれる予定である。
- ・ 親委員会でこれらの動向を報告する。
- ・ 今回の特集号では、10 件中 4 件が返却となった。今回から採択システムが変わったことの影響が少なからずあったと思われる。

18. 出版関係報告（資料 幹 7-15）

大久保幹事より、資料に沿って、現状の出版数の報告がなされた。

19. 小委員会報告審議

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹 7-17）

斉藤幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・ 大きく方針変更があったので親委員会で渡辺委員長から報告していただく。

(2) H106 FRP による構造物の補修・補強指針作成小委員会（資料 幹 7-18-1～3）

中村幹事より、資料に沿って説明がなされた。

- ・ 幹事会で最終的な原稿確認を行った。5/8 に脱稿し出版委員会へ提出予定である。
- ・ 幹 7-18-2 に従い、後援依頼の手続きを進めている
- ・ C263「セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修補強研究小委員会」と地方開催を一緒に実施する予定である。C263 としては、10 月以降、大阪、札幌、福岡で開催することを H106 委員会に投げかける予定であるとのこと。
- ・ C263 としては、土木学会各支部で開催してもらおうことを考えている、また、委託の委員会ということもあって後援をつけていない。→今後両委員会で調整が必要。
- ・ 複合構造委員会幹事会としては、支部開催でもいいので、コンクリート委員会と一緒に開催することを優先することとした。なお、本部開催にすると委員会の行事参加者数がカウントされ、支部開催では赤字となった場合でも支部で処理することとなる。
- ・ 複合構造委員会では、これまで本部開催を基本としていた。これは、支部が対応してくれないであろうという面があったからである。

(3) H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会（資料 幹 7-19）

牧幹事より、活動状況について説明がなされた。

- ・ 第 2 回委員会を 5 月に行う予定である。

(4) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会（資料 幹 7-20）

溝江幹事長より、活動状況について報告がなされた。

- ・ 4 月初旬に沖縄で委員会を開催した。次回は 7 月に委員会を行う予定である。

(5) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（資料 幹 7-21）

川端幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・小委員会を4月に札幌で開催した。
- ・報告会を2019年1月22日午前に土木学会講堂で開催予定である。
- ・本委員会は2期目へ延長する予定である。よって、今回の報告会では、報告書を出版せず、pdf形式でレポートを作成する予定である。
- ・6月で2年経ち、委員会が終了するので、次回幹事会で延長申請をすることとなった。

(6) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹 7-22）

松本幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・5/15に第7回委員会を開催した。
- ・ブラインド性能評価を開始し、初期点検は実施されている。夏頃に載荷実験を実施する予定である。
- ・次回幹事会で委員会の延長申請を行う予定である。

(7) H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会（資料 幹 7-23）

平幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・これまで委員会では話題提供を中心としていたが、次回よりWGを立ち上げて活動していく予定である。

(8) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会（資料 幹 7-24）

橋本幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・3/28に第3回委員会を開催した。一部委員の変更がある。
- ・名簿について、退任の方は旧委員として名前を残していただいてよい。

(9) H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会（資料 幹 7-25）

大久保幹事より、活動状況について報告がなされた。

- ・現在、6/29締切りで委員を募集中である。活動期間は8/1から2年間である。
- ・親委員会時には所定のフォーマットでの報告とする。

20. 第3回委員会議事次第（資料 幹 7-26）

溝江幹事長より、資料に沿って報告、審議がなされた。

- ・資料の通り、大山先生が委員会に出席できれば、書籍の報告をしてもらう。
- ・議事録担当は広瀬委員にお願いする。

21. その他

(1) 継続教育について

中村委員より、現状について報告がなされた。

- ・継続教育実施委員会に確認して進めなければいけないので、手続きを確認した上で、計画を作成し、準備ができ次第、幹事会で説明いただくこととなった。

(2) 全国大会時の幹事会の場所

- ・鹿島建設北海道支店会議室にて実施することとなった。

以上
(記録・文責：平)